



大綱質疑

6月定例会では、2会派が大綱質疑を行いました。

議第1号

問 行政の教育への介入はあるのか。独立性は担保されているのか。

答 首長が介入して当たり前と考える。

問 教育委員へ議会での関連する質疑と答弁は、報告がされているのか。

答 逐次、丁寧に報告している。

問 教育委員会事務局の方針を追認するだけの諮問機関に成り下がり、「形骸化」していないか。

答 そんなことはありません。

問 責任の所在は、はっきりしていますか。

答 はっきりしています。

問 報酬に値する仕事をなさっているのでしょうか。

答 そのように考えます。

問 継続任命は、ご本人のご意思ですか。

答 意思を確認して再任をお願いしています。

問 市民感覚から懸け離れた教育委員会になってはいないでしょうか。

答 そんなことはございません。

議第6号

問 保内地区交流拠点施設建設工事の竣工と施設のオープン

んはいつ頃か。

答 工事完了は平成28年3月30日、施設のオープンは平成28年春を予定している。

問 ペレットボイラーが設置されるが、どのような用途で使用されるのか。導入するに至った経緯はどうか。

答 お客様滞在スペースの冷暖房に使用。

問 三条市バイオマスタウン構想等における取り組みの一環として、エネルギーの地産地消を推進するための導入することとした。

議第7号

問 須領・大島統合保育所の本館にインフレスライド

答 国土交通省の調査で全国工事建設労務単価が4・2%上昇しており、国と県が同条項を適用したことによるもの。

議第8号

問 水槽付き消防ポンプ車は入れ替え前と同程度の性能か。

答 ポンプ能力と水槽の規格は同等で消火性能は向上している。

議第10号

問 社会インフラの包括的民間委託の実施はいつ頃か。

答 年度内に検討結果をまとめ、平成28年度に条例改正

報第5号

問 国保財政の今後の見通しはどうか。

答 平成30年度の県への運営移管に向けて国保財政の健全化を進めたい。

問 ゾーン30の路面表示から発生する振動および騒音について、設置当初より原告側から環境課に対して改善を求める声があったと聞くが、原告側への説明はどのように行われたのか。

答 平成26年3月25日以来5回訪問し、また原告側からも市役所においていただき話し合いを進めてきた。原告の懸念解消に向けて丁寧に説明させていただいた。

問 ICT活用獣害対策システム構築業務等委託料について、国のICT活用補助金を受けようか。

答 熱感知センサーおよび中継機器などの導入。運用は、塩尻市の鳥獣害クラウドシステムを利用する。中浦、北五百川地区での運用で検証しつつ実績を上げていく。

問 オリピック・パラリンピックの活用地域活性化首长連合の事業費について、既に1回目の総会が東京で開かれ、補正予算の約半分は使われている。予算は事前承認が原則ではないか。

答 先導的な官民連携事業を実施しようとする地方公共団体に對し、その導入等を目的とした具体的な検討課題についての調査、検討に要する調査委託費を助成することにより官民連携事業を促進するもの。

や受託者を決定し、平成29年度から実施したい。

問 期成同盟会は、どのような活動をしていくのか。また、加入団体はどこか。

答 県央基幹病院設置に係る道路等環境整備を早期実現するためのもので捉えており、当市を含む近隣の5自治体の首長等で構成し、活動していく。

問 ICT活用獣害対策システム構築業務等委託料について、対象地域、システムの供用開始時期はどのように想定しているのか。

答 対象は、下田地域の中心と北五百川の2地区を対象に実施していく。運用開始時期は8月下旬から9月を想定している。

問 国庫支出金の土木管理事業費補助金の先導的官民連携支援事業とは何か。

答 先導的な官民連携事業を実施しようとする地方公共団体に對し、その導入等を目的とした具体的な検討課題についての調査、検討に要する調査委託費を助成することにより官民連携事業を促進するもの。

